

下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和4年度第5回公民館運営審議会
日 時 令和5年3月25日(金) 午前9時30分～11時00分
場 所 国分寺公民館 視聴覚室
委 員 出席者 中川 賢一、板垣 博史、高橋 佳枝、羽石 孝子
石崎 勝二、石田 節男、高橋 裕美、津野田 久江
北村 優子、篠原 文子、小林 直子、上野 文夫
鈴木 祐孝、小埜 潔美
欠席者 田熊 利光、

教育委員会 教育長 石崎 雅也
生涯学習文化課長 浅香 浩幸
国分寺公民館長 神山 裕
石橋公民館長 櫻井 亜佐美
南河内公民館長 齋藤 光利
南河内東公民館長 大島 浩司
生涯学習文化課 主幹 近藤 隆博

公開・非公開の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)

傍聴人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和5年3月25日

- 1 開 会 南河内東公民館長 大島 浩司
- 2 委員長あいさつ 中川 賢一
- 3 教育長あいさつ 石崎 雅也
- 4 議 事
(1) 令和4年度公民館事業実績報告について
(2) 公民館評価について
(3) その他

(1) 令和4年度公民館事業実績報告について

小林委員長	審議事項 議事(1)「令和4年度公民館事業実績報告」について、事務局からの説明を求める。
事務局	国分寺、石橋、南河内、南河内東公民館の順に「公民館点検・評価シート及び事業実績報告」を実施。
高橋(裕)委員	東公民館の「ママナビ」講座はとてもいいことだと思うが、どうして東公民館で実施しているのか。南河内公民館ではないのか。
事務局	「ママナビ」は石橋公民館で実施している講座であり、南河内小中学校開校に合わせ、令和4年度、初めて実施した事業である。ご指摘のとおり、令和5年度も東公民館で実施する予定である。南河内小中学校へ通学する児童は南河内公民館及び東公民館も同じ学内であり、どちらの公民館で実施しても同様と考えている。ただし、同じ公民館で実施していくことがいいのかは今後、検討していきたい。
上野委員	南河内公民館で講師の時間的制約により、令和5年度の講座実施ができず、また、サークル化もできなかったならば、他の講師を選定して講座等を実施することをしてはどうか。
事務局	ご指摘のとおり、対応していきたい。ただし、ご報告したとおり、教える難しさと教え方の違いを考慮して、対応はしなかった。
全委員	公民館まつりがコロナ感染症により開催できないこの2年間、令和4年度は制約の中、規模は縮小とはなったがサークルがずっと待ち望んでいた発表(展示・ステージ)が開催できたことは大変良かった。また、参加者の生き生きとした顔が見れたことも今後の活動の励みとなり、令和5年度は以前に近い公民館まつりになることを期待したい。
事務局	なお、東公民館は令和5年12月からの工事が実施されることから、令和5年度の公民館まつりの実施をどのように対応するのか。 令和5年度の公民館まつりは令和4年度の反省点を踏まえ、拡充を図っていければと考えている。また、東公民館は今後、サークル等と調整を図り、実施の方法を検討していきたい。
中川委員長	以上で(1)の議案を終了する。

(2) 公民館評価について

小林委員長 事務局	(2)「公民館評価」について、事務局より説明を求める。 評価シート(青表紙)に記入をしたのち、4月28日(金)までに提出をお願いしたい。
小林委員	続いて、各館における自己検証について説明する。 【IV】地域文化創生拠点としての公民館 1. 公民館・生涯学習情報の発信 イ 学習情報等のすべての方への周知徹底に努め、より良い情報誌の作成・配布を続けていきます。
事務局	の、成果に講座の企画が前年の8月ごろと記載されているが、このことから考えると後期の講座等の事業の反映ができず、次年度事業に生かされないのではないのか。 ご指摘のとおり、当該年度の後期の現状を十分に反映することは困難である。しかしながら、次年度の予算及びエール発刊から8月ごろから企画検討を始めないと間に合わない。ただし、前年度の公民館運営審議会のご意見及び前期の状況を加味し、また、来館者の意見及び市庁の対応も含めるように努めている。

中川委員長	<p>毎年、講座数は16講座前後であるが、企画段階は20講座を超え、その中から、生涯学習文化課と協議し、次年度実施する講座を決定している。</p> <p>実績報告の時も上野委員が指摘したとおり、講師の選定の課題があることがうかがえる。ただ、サークル会員がすぐに講師として対応できる状況ではないこともあることが記載されている。聞くところによると、講師の高齢化等により、講師がいなくなり、解散するサークルもある。このことから、同様な方法がいいかは不明だが、すぐに講師となるものではなく、講師とはどのようなものであるかのような「講師養成講座」を実施することを検討してほしい。</p>
小林委員	<p>講師の養成はそう簡単にできるものではなく、自分は図書館ボランティアを行っているが、講師のスキルアップの講座等は県が実施しており、公民館の講師養成も市ではなく、県等の上部にて実施できるような仕組みが望ましいように感じる。</p>
事務局	<p>今後、ご意見を参考にして公民館として検討していきたい。また、ボランティア登録のある生涯学習情報センターの連携を図っていきたい。</p>
板垣副委員長	<p>新規サークルの立ち上げがとくに東公民館は素晴らしいと感じている。しかし、サークルの立ち上げは講師等の多くの課題があると思う。また、講座の内容により既存サークルへの参加もあり、サークルの発展や活性化につながると思う。ただし、会員の状況により、活動場所の変更にもつながる要因もある。</p>
事務局	<p>このところ、施設の状況（改修工事、複合施設の開館等）により、サークルの移動が多くみられる。これらのことが今後のサークルの発展及び活性化につなげていけるよう努めていきたい。</p>
中川委員長	<p>多文化共生事業について、まだまだ不十分なような状況が見られるが今後の対応はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>近年、国際化が世界で見られるようになり、「第二次公民館振興計画」の盛り込まれた新しい課題である。多文化共生といってもどのような方法、方向で取り組むか、現在、模索中である。方法とはただ、語学を学ぶこと、文化を学ぶことなど、方向とは市民（日本国籍）の方に対すること、また、外国籍の方に対することなどである。令和5年度、3講座が予定されている。2講座は市民が外国文化を学ぶもの、1講座は外国籍の方が日本文化を学ぶものである。今後、検討を重ね、多方面から実施できる講座を企画していきたい。</p>
石田委員	<p>旧石橋公民館は雨漏りがひどく、使用できない会議室等があった中で、よく事業（講座・セレモニー等）を実施したと感じている。これは評価に値すると思う。</p>
中川委員長	<p>委員の皆様には期限中に提出をお願いします。</p> <p>以上で（2）の議案を終了する。</p>

(3) その他

中川委員長 事務局	(3) 「その他」について、事務局より説明を求める。 ・ 公民館の運営について 利用者にはマスク着用は個人の判断とする。 講座実施時は状況により、マスク着用を求めることもある。
中川委員長	・ 次回、令和5年度第1回公民館運営審議会は5月下旬を予定している。 決定次第、速やかに通知をする。 質問がなければ本日の会議は以上で終了する。

6 閉 会